



福祉学習のすすめ

～ふだんのくらしをしあわせに～

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会



～『福祉』を学び『やさしさ』を育む～

志摩市社会福祉協議会では、児童・生徒が福祉についての理解を深めることで、将来の志摩市を支える担い手となることを願い、福祉に関する様々な体験や地域の方との交流を主とした福祉学習を実施しています。

『福祉』を学ぶということは、多くの方が過ごす地域において「支え合い」の気持ちを感じることで「やさしさ」を育むことでもあります。

地域の方との出会いやふれあいを通じた学びの機会をぜひご検討ください。

【目次】

*本紙について、福祉学習の流れ・・・1P

*学びから実践へ・・・2P

*福祉学習プログラム・・・3P～7P

*ボランティアセンター・SNS・・・8P

本紙について

本会が提供する福祉学習のプログラムをまとめています。
貴校の児童・生徒への学習プログラムの一環としてご検討いただければ幸いです。

なお、本紙に記載されているプログラムはあくまで一例です。
記載外の内容についてもお気軽にご相談ください。

志摩市社会福祉協議会 地域支援課 (0599-55-3885)

福祉学習の流れ

①申し込み

まずはご相談ください。

☆担当者が一緒にプログラムを考えます。

☆原則、③実施の1カ月前までにご連絡ください。

②内容検討（打ち合わせ）

学習の内容について事前の打ち合わせを行います。

☆学習のねらいや事前学習の内容を共有し、講座の内容を組み立てます。

☆必要に応じて講師を交えて打ち合わせを行います。

③実施

☆児童・生徒が積極的に学習へ参加できるようご協力をお願いします。

④振り返り（任意）

☆児童・生徒の感想や、疑問に思うことなどを引き出してみてください。

☆振り返りの感想や質問を講師に届けることもできます。

◆その他

☆必要に応じて準備のご協力をお願いします。

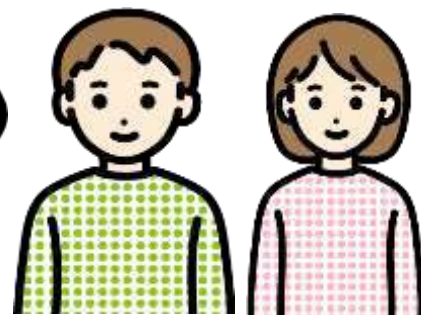
☆本会広報誌、SNS掲載用に写真を撮影させていただきます。

※児童・生徒の顔が映らない等の配慮は行いますが、写真撮影に不都合があればお知らせください。

学びから実践へ

学びから生まれた「やってみたい」を応援します！
福祉学習をキッカケに活動が広がることを目指してボランティア等の活動団体との橋渡しや新たな福祉学習の助言、企画などを行います。

手話の勉強が楽しかった♪
これからも続けたい！



市内の手話サークルを紹介します！
サークルの方と一緒に学ぶことでより手話が身に付きますよ！



バリアフリーの大切さが理解できた！
いま私たちの住んでいる地域にどれだけバリアが残っているのだろうか？



実際に町を歩いてみましょう！
どれだけ地域にバリアが残っているか知る事で自分たちにできることがきっと見えてくるはず！



「なぜ？」、「どうして？」、「なにができる？」
社会福祉協議会の持つ「地域のネットワーク」で
疑問や新たな学びの追求を応援します！

福祉学習 プログラム紹介（体験学習）

体験学習後は児童・生徒が抱いた感想を共有する時間を持ちます。

◎車いす体験学習

*目的	車いすの機能や介助の方法について学び、車いすを利用している方の気持ちを理解します。 また、車いすを利用している方へ自分たちは何ができるかを考えます。
*内容	校舎内外へ車いすを通るコース（悪路、波状路、狭路など）を作ります。車いすへ乗る役・介助する役の双方を体験します。



◎高齢者疑似体験学習

*目的	加齢による身体状況の変化を疑似体験セットで体験します。 また、高齢者が感じる「生活のしづらさ」を学び、自分たちは何ができるかを考えます。
*内容	疑似体験セット（関節の可動域を制限する装具や目の病気を体験できるゴーグル等）を装着し、普段は何気なく過ごしている校内を歩きます。



福祉学習 プログラム紹介（体験学習）

◎アイマスク体験学習

*目的	視覚障がいについて理解を深めるとともに、移動を支援するガイドヘルプの技術や心がけを学びます。
*内容	アイマスクを装着し、視覚を制限した状態で見慣れている校内を歩くことで視覚障がいを疑似体験します。 二人一組で視覚障がい者役とガイド役に分かれて実施します。



◎手話体験学習

*目的	聴覚障がい者のコミュニケーションツールである手話について学びます。聴覚障がい者や手話への理解を深めます。
*内容	市内で活動する手話サークルを講師として招き、手話体験を行います。会話や手話を使った歌など楽しく学べる授業を実施していただきます。 ※手話体験教室をご希望の場合は早めのご依頼をお願いします。



福祉学習 プログラム紹介（交流学習）

◎視覚障がい者との交流

*目的	視覚障がい者に自身の生活についてお話いただくことで、視覚障がいについて理解を深めます。
*内容	志摩市視覚障がい者福祉会の方を講師として招き、日常生活の様子や生活を支える便利グッズの紹介などをお話いただきます。児童・生徒が点字で書いた手紙をお渡しすることもできます。



◎地域（集いの場）での交流

*目的	地域の『集いの場』に出向き交流を行います。地域の方との出会いを通じて、集いの場の目的や役割、意義について学びます。
*内容	地域のふれあいサロン等を訪問し、地域の方との交流を深めます。歌や楽器演奏、ハンドマッサージなど児童・生徒の特技を活かしての交流もできます。



福祉学習 プログラム紹介（交流学習）

◎施設の利用者や職員との交流

*目的	高齢者介護施設・障がい者支援施設などの福祉施設の利用者や職員と交流することで、施設の意義や利用者・職員の思いなどを学びます。
*内容	志摩市社会福祉協議会や市内の介護・福祉施設にて交流を通じた学習を行います。利用者との交流だけでなく、職員に話を伺うことで、コミュニケーション等を学ぶこともできます。



◎ICTを活用した交流

*目的	新型コロナウイルス感染症等の社会情勢に関わらず、交流学習を行えるようICTを活用した交流機会を企画します。
*内容	利用者や職員への質問を動画に収め、施設に届ける交流や、オンライン会議ツールを活用したリアルタイムの交流を企画します。

楽器演奏をデイサービスの利用者へ動画で届けました！



福祉学習 プログラム紹介（その他の学習）

◎認知症キッズ・ティーンサポーター養成講座

*目的	認知症についての正しい知識を学び、日常生活の中で認知症の人やその家族を温かい目で見守るなど、認知症のある人への対応について理解を深めます。
*内容	市職員、キャラバンメイトが講師となり、認知症の基本的な知識、接し方などについて学びます。 対象：小学校4年生以上



◎その他の学習

学習プログラム	内容
*社会福祉協議会について	地域における社会福祉協議会の役割や、業務の内容について学びます。
*ボランティアについて	ボランティアの基礎知識やボランティアセンターの役割について学びます。
*防災について	防災についての基礎知識や、災害時のボランティア活動等について学びます。 また、地域を歩き、避難経路の確認や危険箇所を把握する防災タウンウォッチングも企画します。

※ここで紹介したプログラムは一例です。
記載外の内容についても実施できます。お気軽にご相談ください。

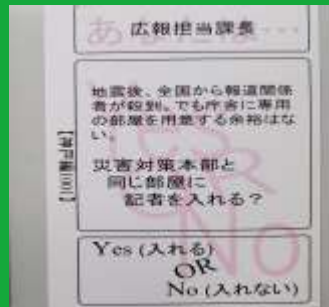
◆志摩市社協ボランティアセンター

志摩市社会福祉協議会では、ボランティアや市民活動者を支援するため、ボランティアセンターを設置しています。

★ボランティアセンターの業務

- ・ 各種相談 ・ ボランティアの紹介、マッチング
- ・ 機器の貸出 ・ ボランティア保険の加入 等

児童・生徒のボランティア体験などにもぜひご活用ください。



貸出物品（写真）
（左：カローリング、
右：災害時対応ゲーム）



◆志摩市社協SNS

志摩市社会福祉協議会では、若い世代を含むより多くの方々に福祉に関心を持っていただけるよう公式SNS（LINE、Instagram等）を活用してボランティア情報、本会事業の紹介、地域支援の情報等を随時発信しています。



Facebook
LINE



Instagram





志摩市社協

発 行

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会

〒517-0214 志摩市磯部町迫間955

TEL/FAX 0599-55-3885/55-4014

URL <https://shima-fukushikyo.or.jp/>
